

あけましておめでとうございます。

岸和田市日本中国友好協会
会長 武井 俊成



昨年 1 年を振り返れば 2 年続けてコロナの影響で活動が予定通りできなかったことが一番大きかったことでした。5 月の定期総会終了からの活動を延期中止のやむなきに至りました。社会はコロナ禍で苦しみ、多くの人に影響を受け、コロナの収束で生活が通常に戻ることを願うばかりでした。

そのなか 10 月の中国音楽コンサートを皮切りに予定してありました行事をこなすことが出来たことはとてもありがたいことでした。

私たちは文化活動を中心に、親睦交流を通してお互いの理解を深めたいとの思いで活動をしてしておりますが、昨年の日中小学生絵画交展は初めて岸和田、汕頭両市の全小学校に作品展への応募をお願いすることが出来、それまでは一校単位でお願いして両市二校による合同展とは大きく様変わりいたしました。今迄のこちらから出展数を願っていたのと違い、自主的な出展となり岸和田だけで 85 点の応募をいただき感激しました。この絵画作品を多くの児童、市民の方に観覧いただくことで、岸和田の作品だけでなく中国の絵画を理解するきっかけとなり深まることで、理解の輪が広がることと思っております。

毎年開催してございました中国大阪総領事館とのミカン狩りは、薛劍総領事様始め 14 名の方がお越しいただきミカン狩りをはさんで午前午後と岸和田の農業を体験、視察される新しい形となりました。また永野市長も来ていただき総領事とお会い頂きました。

大阪観光大学留学生との交流も多くなってきた年となり、初めてのミカン狩り、食料品の支援をさせていただき日本のことを理解していただくことに努めました。

今年はコロナが収まることを念じ、活動がスムーズに進められることを願っております。

本年もどうかよろしく願いいたします。

新年のごあいさつ

岸和田市長
永野 耕平



新年あけましておめでとうございます。皆さまには、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より本市のまちづくり、とりわけ国際交流事業にご支援、ご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

貴協会は市民の組織として設立され、訪問団の受け入れや派遣、中国での緑化活動、スポーツ交流等々多彩な活動を続けられ、両国の相互理解と友好を深めてこられました。歴代役員の方々をはじめ会員各位の長きにわたるご尽力に深く敬意と感謝の意を表すところであります。

昨年も、協会でご企画された「みかん狩り」にお招きいただきありがとうございました。大勢の参加された方々の中には、中華人民共和国駐大阪総領事館の薛劍総領事もおられました。コロナ禍で準備も大変だったと想像しますが、本市に来ていただいたお客様の楽しまれている姿をみる事ができましたし、盛況な催しとなったことも喜ばしく思いました。

また、本市は汕頭市と上海市楊浦区の友好交流関係を深めておるところです。協会さまには、そのうちの一つ、汕頭市との「日中友好小学生絵画交流展」を主催していただきました。このような、文化・芸術・スポーツ等々を通じて友好交流を深めることは、大変意義深いものがございます。その輪の広がりが、中国と日本、ひいては世界の平和と繁栄に大きく寄与するものと確信いたしております。

本市では、今後も様々な交流活動を通し、両国間の親交を深めてまいりますので、貴協会の皆様方の今後ともご理解とご協力をお願いする次第であります。

結びに、岸和田市日本中国友好協会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

大阪観光大学のニュースで紹介されました

岸和田市日中友好協会の 武井 俊成 会長よりコロナ見舞いの第2弾として留学生へ食料品・生活用品の寄贈があり、11月9日(火)に無料配布を行ないました。岸和田市日中友好協会様とは従前、中国料理教室などを通して留学生と様々な交流を重ねていただきましたが、昨年はコロナ禍のためほとんどのイベントが中止となり、留学生の生活を心配した会員の皆さんから2度にわたり食料品や生活用品をご寄贈いただきました。



食料品・生活用品配布の様子



今回寄贈いただいた食料品・生活用品

なお岸和田市日中友好協会様は、10月30日(土)にも本学学生13名・教職員3名に観光農園でのミカン狩り体験の場を提供してくださいました。併せて御礼を申し上げます

(2021, 11, 15号大学ニュースより抜粋させていただきました)

日中小学生絵画交流展作品を中国へ

11月30日に汕頭市へ作品を送りましたところ、12月10日に到着したとの連絡を受けました。12月中に作品展を開催するために準備をしますとのことですので中国の児童の方にご覧いただいていることと思います。向こうでの展示後返却の予定です。

2月のKIX泉州国際マラソンは中止となっております。2,3月の活動はコロナ禍のこともあり、具体化は未定です。出来るだけ皆様に早くお知らせできるようにと思っておりますので今しばらくお待ちください。



12月4日(土) 楓林閣 大阪府日中忘年会

12月16日(木) 福祉センター 12月度理事会

1月20日(木) // 1月度理事会

新年のご挨拶

NPO 大阪府日中友好協会

会長 梶本徳彦



新年あけましておめでとうございます。岸和田市日中友好協会の皆様におかれましては、ご家族とともに良い新年をお迎えになったことと思います。

貴協会は1987年の創立以来、長年にわたり特色ある活動を展開され日中両国民の友好親善に貢献されていることに敬意を表します。また、平素から大阪府日中友好協会の活動にご理解ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

一昨年1月末からの新型コロナウイルスの蔓延によって、我が国はもとより世界中が翻弄され、国内外の人々の往来が激減し、経済的にも大きな打撃を受けました。日常生活においても外出自粛、様々な会合の中止が求められ、日中友好協会も予定していたほとんどの事業が中止を余儀なくされました。しかし、昨年は10月にはようやく緊急事態宣言が解除され活動が再開できるようになりました。

岸和田市日中友好協会におかれては、従来から在大阪中国総領事館を招いてのミカン狩りの交流を続けてこられました。とりわけ昨年10月30日の交流は大変有意義であったと薛劍総領事をはじめ総領事館の皆様から伺っています。今後とも貴協会におかれましては、コロナ禍後の活動について会員の皆様の創意工夫によって新しい活動の輪がさらに広がることを期待しています。

本年は日中国交正常化50周年の記念すべき年です。国交正常化以降、両国の人的往来や経済的な結びつきが飛躍的に増えたことはご承知のとおりです。最近両国の国民感情が悪化していることを懸念していますが、地理的に一衣帯水の隣人であり、一千数百年の交流の歴史があり、近年は両国の経済的な結びつきが強いことを考えると、私たち日中友好に携わる者は国交正常化の意義を改めて確認し、両国国民の相互理解と相互尊重の機運を高めるために活動することが重要であると思います。

本年も貴協会の発展と会員の皆様のご健康とご多をお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

中華人民共和国駐大阪総領事館

総領事 薛 劍



『你好』2022年新年号の刊行に当たり、中華人民共和国駐大阪総領事館を代表しまして、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

岸和田市日中友好協会は創設以来、中日地方交流に取り組み、青少年交流や留学生への支援など様々な分野において、友好交流の実績を積み重ねてこられました。特に、今年は21年間欠かさず続けてきたみかん狩りを開催ただけでなく、地域の皆様と一体になって援農イベントにもご尽力いただきました。武井会長をはじめとする協会の皆様の地域に根ざした中日友好への思いに、改めて感謝と敬意を申し上げます。

現在、中日関係は複雑な状況に直面していますが、私たちは両国関係に関わる諸問題を真剣に考え、両国関係の安定した改善・発展の道を模索していくべきだと思います。そのために、地域に張り付くような地道な努力が必要です。来年は中日国交正常化50周年という節目であり、北京冬季オリンピックの開催年でもあります。

総領事館といたしましては、岸和田市日中友好協会を含め、地域の皆様と国交正常化の初心に立ち返り、半世紀以来の経験と知恵を汲み取り、各分野における友好交流と実務協力に取り組んでいく所存です。今後ともお力添えくださいますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、岸和田市日本中国友好協会の益々のご発展と、武井会長をはじめとする会員の皆様のご清祥とご多幸をお祈り申し上げます。